

平成 25 年度図書館活動計画(案)

1. 基本方針

- (1) 情報提供サービスの拠点
- (2) 子ども読書活動の推進
- (3) 文化・歴史資料の保存と活用
- (4) 地域へのサービス
- (5) 世代を超えた交流の場

2. 平成 25 年度事業について

基本方針に基づく継続及び新規事業(新規事業☆)

(1) 情報提供サービス

① 子育て世代へ向けて

子育て世代へ向けて、『赤ちゃんの頃から、いつも身近に本がある心豊かな生活づくり』への提言と資料提供を行う。

事業名	内容	効果
ブックスタート 年 41 回	・乳児健診(7ヶ月・11ヶ月)での、「絵本のある子育て」支援メッセージ ・健康増進課、ボランティア、図書館の3者連携 (平成 15 年 9 月開始)	・心にゆとりを持った子育てへの提言 ・図書館利用促進
ひよこタイム 毎月第 3 水曜日 11:00~11:30 おはなしのへや	・0~2 才児対象の絵本やわらべうたあそびの時間 (平成 19 年 4 月開始)	・「ブックスタート」フォローアップ ・良質な赤ちゃん絵本との出会い、伝承あそびによる親子スキンシップ ・母親同士のコミュニケーション
こぐまタイム 毎月第 3 水曜日 11:30~12:00 おはなしのへや	・2~3 才児対象の絵本やわらべうたあそびの時間 ・ボランティアの協力 (平成 21 年 4 月開始)	・赤ちゃんから幼児への移行期における良質な幼児絵本との出会い、伝承あそびによる親子のスキンシップ
ひよこ・こぐまタイム スペシャル 大会議室	・0~3 才児対象の絵本やわらべうたあそびの時間を日曜、祝日などに開催し、父親参加を勧める	・父親参加による家族間コミュニケーションの形成
絵本のある子育て応援 隊	・子育て支援 NPO や子育てサークルへの講師派遣と絵本の貸出し	・若い子育て世代への、絵本のある子育て支援

②青少年へ向けて

図書館での就労体験を通じて、社会へ向けての情報発信の意義を考える機会を提供する。

事業名	内容	効果
体験学習受入れ	・中学生の体験学習受入れ	・中学生の就労体験と図書館活動への理解
就労体験受入れ	・高校生の就労体験受入れ (平成 22 年度開始)	・高校生の就労体験と図書館活動への理解
社会体験受入れ	・ひきこもり者の社会参加体験受入れ (平成 21 年度開始)	・ひきこもり者の社会参加支援と図書館活動への理解

③一般へ向けて

図書資料提供に加えて、暮らしに密着した情報を得る機会を提供する。

事業名	内容	効果
★サイエンス・レクチャー 年間 4 回	・一般対象の科学講座(海洋生物、星) ・講師は地元研究者に依頼	・参加しやすいテーマで科学に関心を持てる
暮らしに役立つ講座 年間 2 回	・暮らしに密着した内容の講座(子どもの事故防止、メタボリックなど) ・講師は市職員に依頼	・気軽に参加でき、生活に役立つ情報を得られる
図書テーマ展示 カウンター前	・時勢、季節に関する図書や開催講座のテーマに関連する図書展示と貸出し	・展示本から、新たな興味や読書意欲が湧く

(2)子ども読書活動推進

子どもたちの知的好奇心・読書意欲を掘り起こし、本の楽しさを伝える。また、子どもたちの身近にいつも本があるように、移動図書館や配本により、園や学校へ本を届ける。さらに子どもたちの読書活動推進のための地域ボランティアを養成する。

事業名	内容	効果
★絵本作家の講演会とワークショップ	・絵本作家さいとうしのぶさんの講演と絵本作りワークショップ(20組くらい) 平成 25 年 8 月 13:30~16:00 たなべる大会議室	・絵本作り体験を通して、創作の喜びを知り、一層本好きになる
おはなし会 毎週日曜日 10:30~11:00	・就学前~小学校低学年対象の絵本の読み聞かせや紙芝居の時間	・自主的読書への契機 ・図書館員への信頼感が育まれ、読書相談に繋がる

おはなしタイム 第2・3・4土曜日 10:30～11:00	・ボランティアによる、就学前児童や小学校低学年対象の絵本の読み聞かせや紙芝居の時間	・自主的読書への契機 ・地域ボランティアとの世代間交流による情操教育
おはなしランド 8月24日(土) ～30日(金) 10:30～11:00	・夏休み版おはなし会 ・絵本の読み聞かせや紙芝居の時間	・自主的読書への契機
学校出前講座	・児童、生徒や教職員、保護者対象の講座 ・「読み聞かせ講座」「郷土の人物」ほか	・教科学習や読書活動への支援
ブックトーク	・小学校中学年以上対象 ・テーマを決めて、物語、科学等さまざまなジャンルの図書を効果的に紹介	・子どもたちの読書意欲向上
図書整理指導	・児童、生徒または、教職員、保護者ボランティア対象の、学校図書整理指導	・学校図書館整備と利用の促進
移動図書館 毎月巡回	・図書館本館、分室から比較的遠い地域の小学校・保育園への移動図書館巡回	・児童、教諭への図書貸出し
なかよし文庫 隔月巡回	・保育所(園)、幼稚園への箱バン巡回による絵本貸出し(園での読み聞かせ、家庭への貸出し用) (市立保育所(園)、幼稚園へ平成22年4月開始、平成23年4月から民間園へ拡充)	・保育士、教諭(園児・保護者)が、必要な絵本を選べる
学童保育所への配本 毎月・隔月	・学童保育所からの要望に応じて、配本事業を開始 (平成24年4月開始)	・学童保育所での児童の読書環境充実

(3)文化・歴史資料の保存と活用

郷土の歴史への関心、研究への情報と資料提供を行う。また、古文書等の貴重資料のデジタル化について計画を作成する。

事業名	内容	効果
★貴重資料デジタル化計画作成	・古文書などの貴重資料デジタル化に向けての計画作成	・貴重資料の保存と公開

(4) 地域へのサービス

新館、分室から遠く来館不便な地域への移動図書館巡回により、地域の読書活動支援を行う。

事業名	内容	効果
ふれあい文庫 毎月巡回	・新館、分室から遠く来館不便な地域への移動図書館巡回 ・行政局、教育事務所との連携による行政の情報発信と地域現状の聞き取り、関連部署への伝達	・地域の文化力向上 ・地域と行政との情報共有
分室運営	・各教育事務所との連携による 4 分室の運営及び指導	・地域への図書資料提供サービスの迅速化

(5) 世代を超えた交流の場

さまざまな年代の人が集い交流できるような、催し物や展示を行う。

事業名	内容	効果
おはなしのじかん 第 1 土曜日 30 分間	・小学生から大人まで、ともに昔話を楽しむ (平成 23 年 5 月開始、平成 25 年度より職員も参加)	・小学生から大人まで、ともに昔話に耳を傾けることで、世代を越えた交流を深める
民話スライド劇場	・地域に伝わる伝説や民話の手作りスライド鑑賞	・地元で語り継がれてきた伝説や民話を楽しみ、世代を越えた交流を深める
利用者の作品展示 毎月	・絵画、写真、手工芸など、利用者の作品展示	・展示作品の鑑賞と、作品創作への意欲